

階層別選択研修（共同）

研修名	中級【コミュニケーション分野】	受講者の声	
	ダイバーシティ推進 ～外国人、LGBTQ、障害者等 すべての人々との共生社会のために～	ダイバーシティという言葉にここまで深い意味があり考えるべきことがあるのだと感じられ、多分野において今後の課題が発見できました。ただ業務をこなすのではなく、幅広い視野を持って課題解決しながら仕事をしようという良いモチベーションが持てました。	
講師	一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 <small>たむら たろう</small> 田村 太郎	実施日数・時間	計3時間程度
		手法	動画研修
		会場	各所属ほか
		市町村研修コード	224
ねらい	外国人、LGBTQ、障害者等をはじめとした方々の多様な価値観について理解を深め、地域や組織におけるダイバーシティの推進について学びます。		
対象者	<p>【県】 次のいずれかに該当する職員</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員 令和4年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和5年4月1日現在25歳以上の職員 <p>なお、追加募集を行う場合は、上記以外で受講を希望する職員について職位を問わず対象者とする。</p> <p>【市町村】 主任級以下の職員</p> <p>なお、上記以外で受講を希望する職員については、職位を問わず対象者とする。</p> <p>ただし、応募者が多数の場合は、主事・技師・主任級の職員を優先する。</p>		
実施日	研修生に別途通知		
予定人員	県100人・市町村100人		
学 習 計 画			
カリキュラム	動画時間数		内 容
	時	分	
「ちがい」に寛容な社会が求められる理由	3	00	<ul style="list-style-type: none"> 「ダイバーシティ」とは？ 持続可能な社会の形成とダイバーシティ
地域におけるダイバーシティ推進の意義			<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な地域づくりとダイバーシティ 「排除」から「包摂」への転換をめざして 多様な担い手が活躍できる地域の重要性
知っておきたい分野別の取り組み			<ul style="list-style-type: none"> 障害者／セクシャルマイノリティ(LGBTQ)／多文化共生
ダイバーシティに配慮した住民施策とコミュニケーション			<ul style="list-style-type: none"> 住民施策におけるポイント コミュニケーションにおけるポイント、手法
組織におけるダイバーシティ推進の意義			<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な組織づくりとダイバーシティ推進 ダイバーシティ推進のための3つの視点
ダイバーシティを活かした組織運営の方法と課題			<ul style="list-style-type: none"> 「2つの誤解」と求められる「3つの多様性」 異文化理解とコミュニケーションの視点 行政に期待される3つの側面
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 事前課題、事後課題があります。 県職員：人事委員会事務局が実施する主査級昇任試験の受験要件となる選択研修です。県職員のみ受講後は研修効果確認レポートの提出が必要です。 		